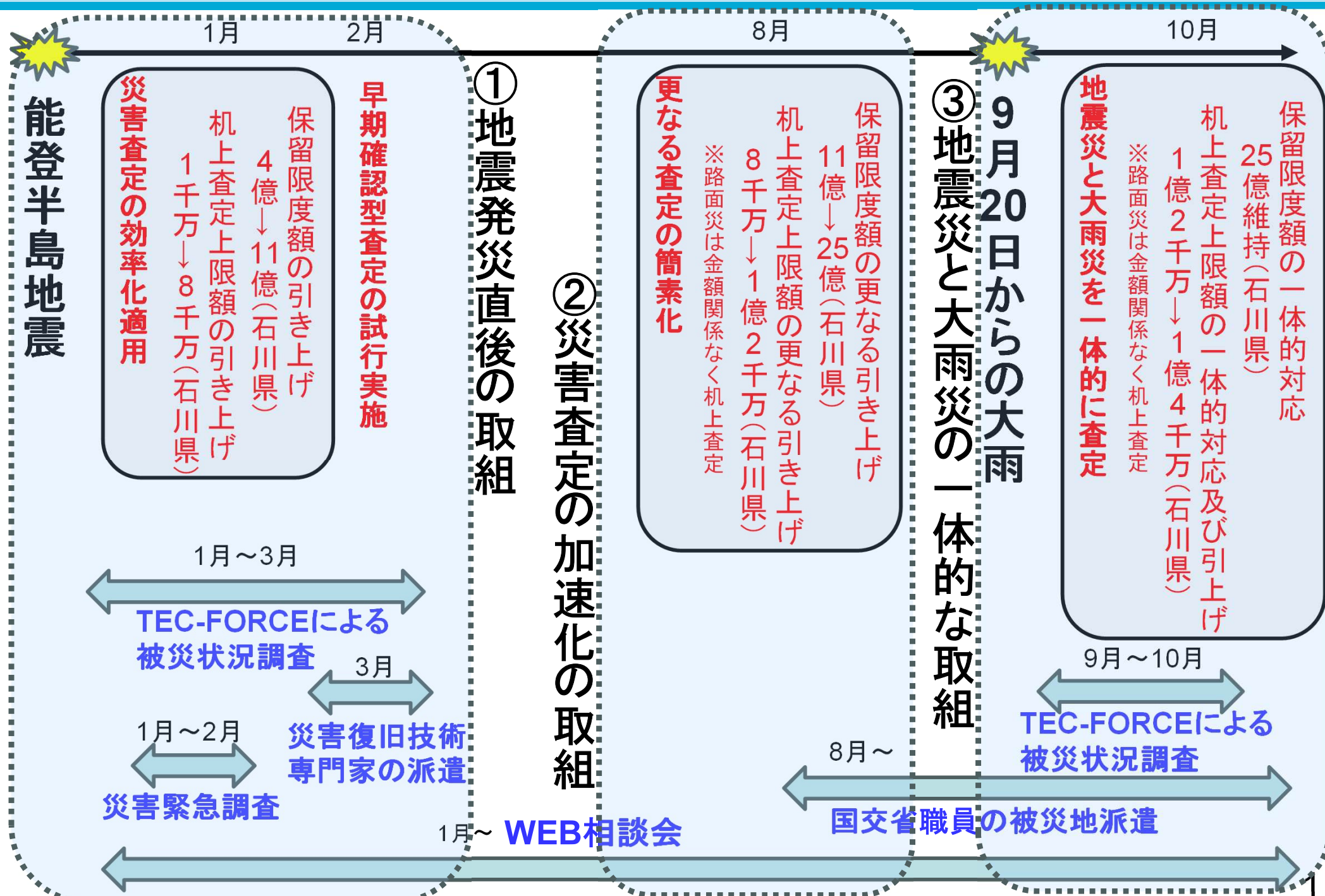


能登半島の早期復旧に向けた対応



能登半島の早期復旧に向けた対応

- ①令和6年能登半島地震直後より、早期復旧に向けた災害査定効率化(簡素化)、技術的支援を実施
- ②災害査定を加速化するために、机上査定上限額や現地で決定できる金額の更なる引上げを実施
また、被災地に国土交通省職員を派遣し、自治体職員やコンサル等に技術的助言を実施
- ③9月20日から大雨による災害が発生したことから、2つの災害に対して統一した災害査定効率化(簡素化)を実施

①災害査定効率化

地震発災直後から

■災害査定効率化(簡素化)の適用(災害査定に要する期間等を大幅に縮減する)

- ・机上査定額の引上げ
- ・現地で決定できる上限額の引上げ
- ・設計図書の簡素化
- ・早期確認型査定の実施

■技術的支援

- ・災害査定官による緊急調査を実施
- ・WEB説明会・相談会の実施



【緊急調査状況】

③地震災と大雨災の一体的な取組

R6.10/11~

■地震災と大雨災一体として査定実施 今回初めて、2つの災害に対して統一した災害査定効率化を実施

通常は個々の災害毎に効率化の内容を適用

効率化の内容	地震	大雨	地震・大雨
机上査定 上限額 の引上げ ※通常:1千万円	既に上限額の 引上げを適用済	新たに上限額の 引上げを適用	1億4千万円
現地で決定 できる金額の 引上げ ※通常:4億円	既に上限額の 引上げを適用済	新たに上限額の 引上げを適用	25億円

地震・豪雨を
一体に検討

2つの災害に共通の
効率化の内容
を適用(今回初)

②災害査定加速化の取組

R6.8/23~

■災害査定更なる効率化(簡素化)の適用

- ・現地で決定できる上限額の更なる引上げ
- ・机上査定額の更なる引上げ

■技術的支援

- ・被災地に国土交通省職員を派遣し、継続的に技術的助言を実施
- ・WEB相談会の実施



【技術的支援状況】

取組一覧

	通常	1/26 (地震災)	8/23 (地震災)	10/11 (地震災 大雨災共通)
机上査定上限額の引上げ	1,000万円	8,000万円 (石川県) 8倍	1億2,000万円 (石川県) 通常より12倍	1億4,000万円 (石川県) 通常より14倍
現地で決定できる金額の引上げ	4億円	11億円 (石川県) 約3倍	25億円 (石川県) 通常より約6倍	25億円 (石川県) 通常より約6倍
図面等の効率化	必要な書類 詳細な平面図 変化点毎の縦断面・横断面 査定設計書(詳細数量・積算資料) 詳細な写真	平面図(既存地図データ等活用) 標準断面図(代表断面のみ) 査定設計書(概算数量・詳細な積算資料不用) 写真(起終点・被災事実のみ)	※地震災と大雨災を一体的に実施 ○道路の場合 被災箇所間の距離:100mを超える 被災箇所間の距離:100mを超える	

水道は地震・大雨共通として、机上査定上限額の引上げ額は12億円、現地で決定できる金額の引上げ額は12億円を適用